



政策研究グループ「デルフィ」

総合政策研究所
**INSTITUTE FOR COMPLEX
STRATEGIC STUDIES**



基本理念

ICSSは経済政策分野においてロシアでの主な研究所である。



私たちは研究に基づき、管理局と会社に専門的支援。国家、ビジネス、科学及び教育の共同対話の実現を基にロシアの社会・経済発展に貢献することである。

代表



ICSS所長

オレグ・ヴィハンスキー教授、経済学博士
モスクワ国立大学附属ビジネススクールの学長、
北東大学附属ビジネス大学院（ボストン市、アメリカ）と、青山学院附属
国際マネジメント研究科の客員教授、
マネジメントと政策的管理の教科書の著者。

研究員



エブゲニー・ポグレブニャク
研究局局長



ドミトリ・プレハノフ
研究員



ナタリア・シュワリョーフ
分析部部長



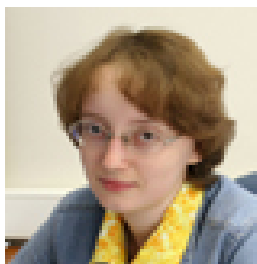
エレナ・キセリョーフ
研究員



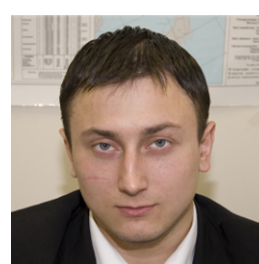
セルゲイ・ザヴェルスキー
研究員主任



ナタリア・チュールキナ
研究員



ヴェラ・コノノワ
研究員



アレクサンドル・ヴェクシン
研究員

ICSS研究の主な方針

- 通貨・金融政策
- 税金政策
- 分野分析
- 金融市場
- 対外経済活動
- 社会・経済政策

通貨・金融政策と為替相場

「ロシア銀行」の通貨・金融政策の分析



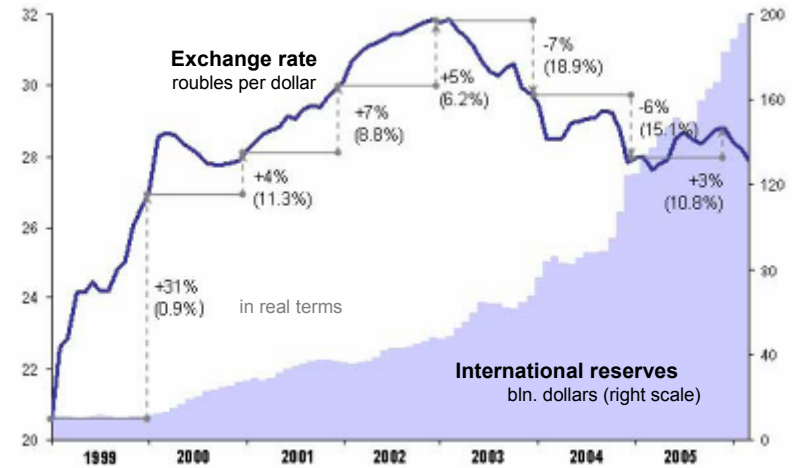
新たな金融政策 – 新たなルーブルレート (2004年)

- 通貨相場の基本指数として使用されている新たなビー・カレンシールレートが提案。



2002年-2004年度の「ロシア銀行」の金融政策の主な方針の比較分析.

- インフレーションのコントロールと、ルーブルレートの安定に失敗



企業活動に対して為替相場の影響

(経済変遷研究所の調査結果による)

主な問題:

- 輸入拡大の規模と仕組み
- 企業にとってルーブル通貨価格改訂の影響
- ルーブル通貨価格改訂の状態での企業行動



The Impact and Consequences of Rouble Appreciation (BOFIT Russia Review, 11/2005)



2005-2006年でのロシア工業企業の経済行状に対しての為替相場の影響. (モスクワ社会科学基金の奨学金)


マイナス効果	プラス効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 輸入に対する価格競争力衰退 ■ 市場の損失と財政状況の悪化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 輸入施設 (材料、コンポーネント) における費用の減少 ■ 外国負債整備点検の値下げ


バランス効果が近代化速度を測定

インフレーション

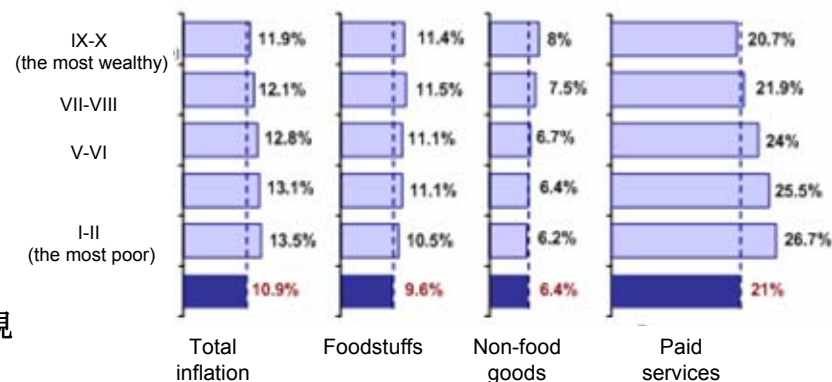
所得グループによってインフレーション分化

- 様々な所得グループの消費の相違を計算に入れて個人インフレーション指数を計算 (家庭予算の調査データによる)。

 ロシアでの所得グループによって消費インフレーション (ICSS分析シリーズ)


 ロシアの経済成長が目指すのは貧困の克服? (国立大学附属経済学院にて第7回国際科学会議「経済の現代化と国家」でのレポート, 2006年)

Inflation for Different Income Groups, 2005

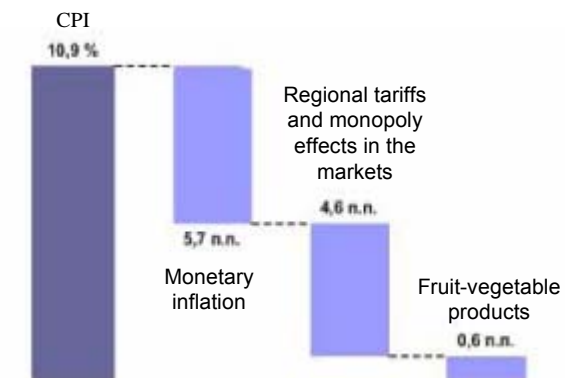


インフレーション要因のモデル構成

- 計量経済学モデルの基に消費価格指数成長における通貨かつ非貨幣要因の見積りを評価。


 1998年-2002年のインフレーション要因. («予測における問題» №2, 2003年)

Inflationary Factors, 2005




税金政策

非第一次産業分野の発展に対する課税影響

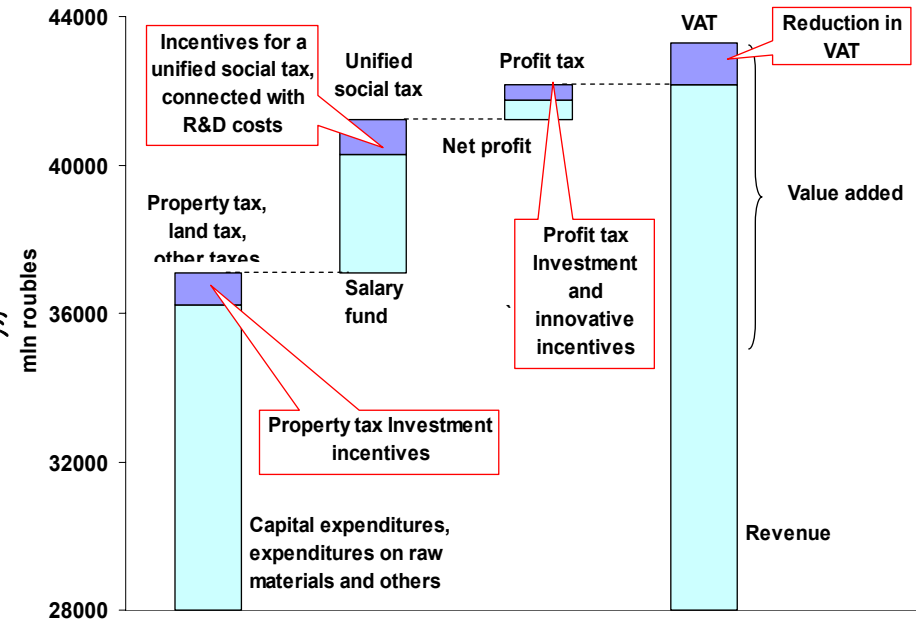
 自動車産業のための税制上の優遇措置
(工業電気エネルギー省の注文で, 2006年)

- 自動車産業の課税仕組みを評価。
- 産業開発のために提案された刺激的な測定の経済効果を計算。

 経済主体の予想反応を計算に入れて税制改革結果のミ
クロ経済学の評価価格
(モスクワ社会科学基金の奨学金, 2003年)

- 課税の変化への税制改革の影響をミクロ経済学で評価
- 税金改革に対応した企業の反応を分析

Tax Incentives for the Automotive Industry Enterprises



税制改革に関する提案

非第一次産業開発	基本資産の改新	税務管理の改良
<ul style="list-style-type: none"> 13%までVATの基本料金の減少 輸出VAT還付の単純化 	<ul style="list-style-type: none"> 企業収入の50%レートの投資控除 企業取引高の2%レートのR&D用控除 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスと課税当局関係の法規制定 実行された改革への政府機関の責任

自動車産業

乗用車市場



2006年-2010 年度の自動車産業の発展の予測作成。(電気工業エネルギー省の注文で, 2005年)

- ロシア自動車市場の見積り
- マクロ経済的シナリオと国家規則に応じた自動車産業開発の予測

自動車用部品市場



「自動車用部品と材料の生産開発」プログラムの分析サポート (電気工業エネルギー省の注文で, 2006年)

- 自動車用部品市場の見積り
- 自動車用部品の開発の主な傾向
- ロシアで自動車用部品の生産者の地理的集中

助言



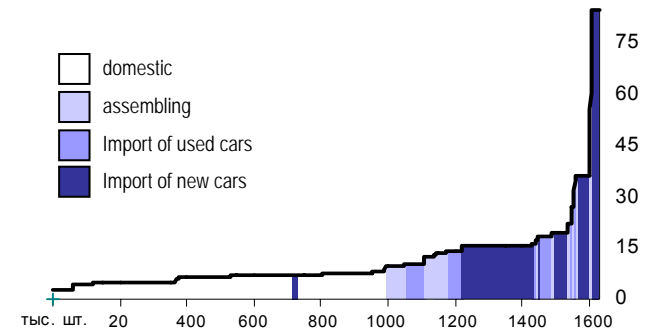
自動車産業における国家管理の国際経験 (電気工業エネルギー省の注文で, 2005年)

- 需要と供給での国家管理の主な分類方法

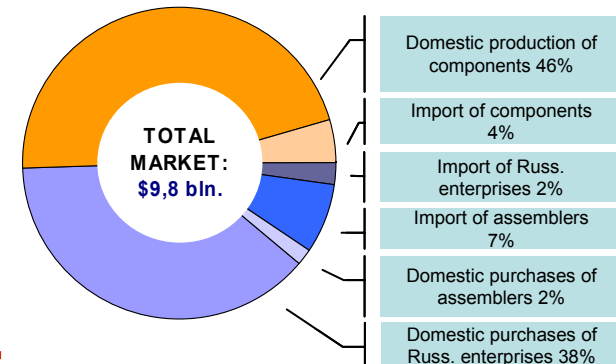


自動車産業のために税制上の優遇措置を提案 (電気工業エネルギー省の注文で, 2006年)

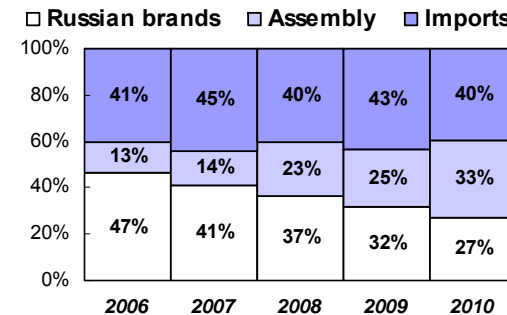
Distribution of Demand for Automobiles by Price, 2004



Structure of the Autocomponent's Market of the RF, 2004



Structure of the Automotive Market (2006-2010)

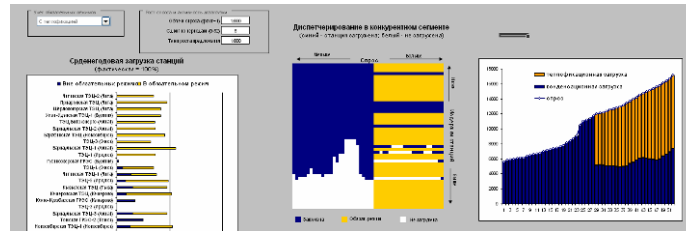


電気エネルギー

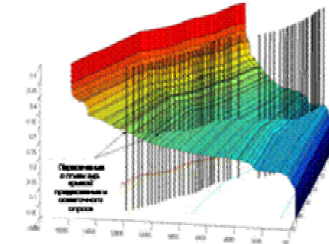
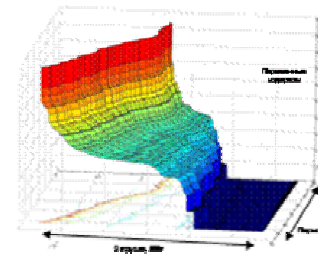
ICSSによる競争市場のモデル/Deutsche UFG

- 競争市場にて電気エネルギー価格の予測モデル
- シベリア電気エネルギー総合システムにて電気エネルギー発信源の資産評価

初期データの
パネル



一年間の競争市場での電気エネルギー価格の変化



シベリア電気エネルギー
総合システムでの年間電
気エネルギー製造

発電所の電気エネルギー価格
の規定

卸売市場のイミテーションモデル



Analysis of the Russian Wholesale Electricity Market Using Computational Learning, INFORMS Annual Meeting, Denver 2004
Jointly with Derek Bunn, London Business School



ロシアの電気エネルギー競争市場の分析かつ市場開発に対する優遇措置、国立大学附属経済学院にて第六回国際会議「経済近代化と施設の設立」、2005年。

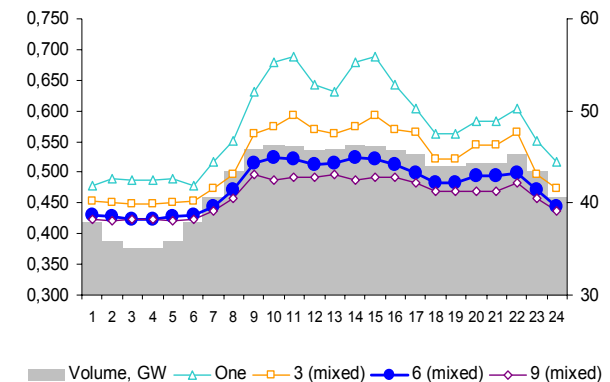


電気エネルギー分析における数学的モデル、ヨーロッパ科学基金の研究セミナー、カスティーリャ・ラ・マンチャ大学（スペイン）、2005年。

教育

- 「電気エネルギー競争市場の経済」 コース (総合政策研究所とデルフィグループのサマースクール、2006年)
- 「電気エネルギー競争市場のモデル化及び経営」 コースの枠内でのロシア電気エネルギー改革に関する講 (ロンドンビジネススクール、2006年)

市場での会社数による価格の変化




生産システム

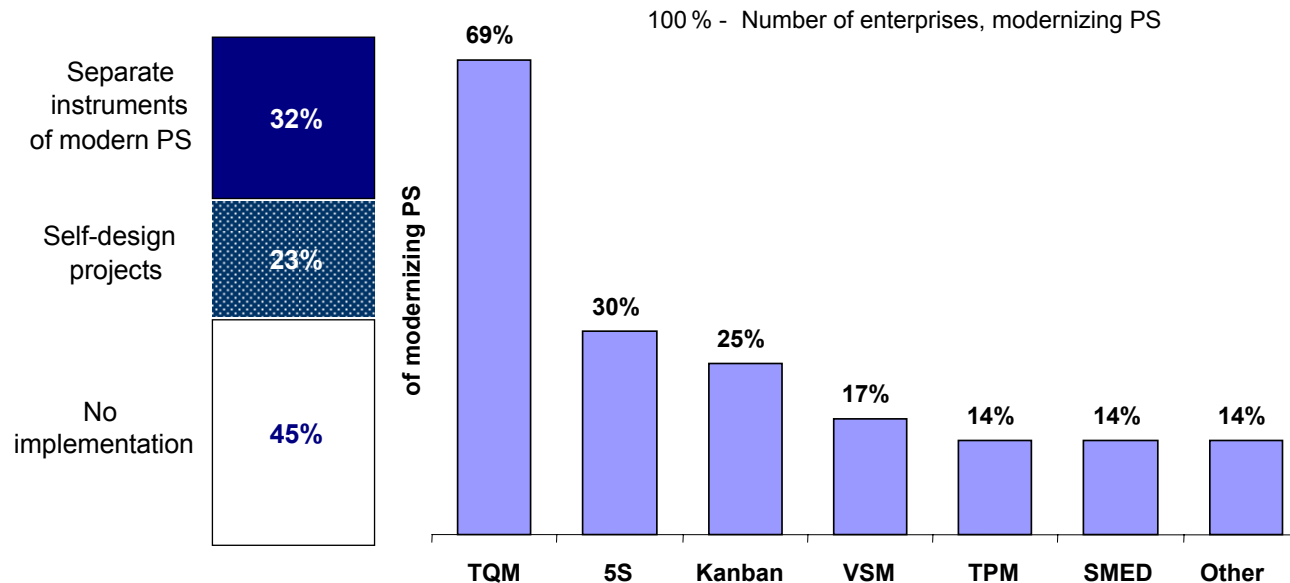
ロシアでの生産システムの近代化

 ロシアでLean Manufacturingの普及: 工業企業の調査結果 (第一回ロシアLeanフォーラム, 2006年)

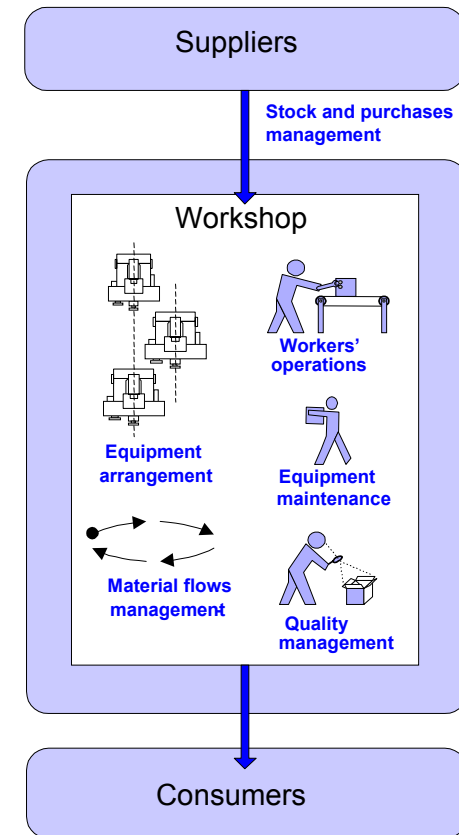
- 近代的生産システムの普及かつボトルネックに及ぼす影響の調査が行われた。
- 企業の規模、専門分野かつ地域所属によって生産システムの近代化における企業の積極的活動を評価。

 生産システムの開発によつての競争優越の獲得(「欧州連合の将来競争力」会議, トゥルク市 (フィンランド)、2006年)

工業企業の三分の一は生産システム近代化の経験がある



企業の生産システムの主な成分



工業輸出の促進

輸出と経済成長

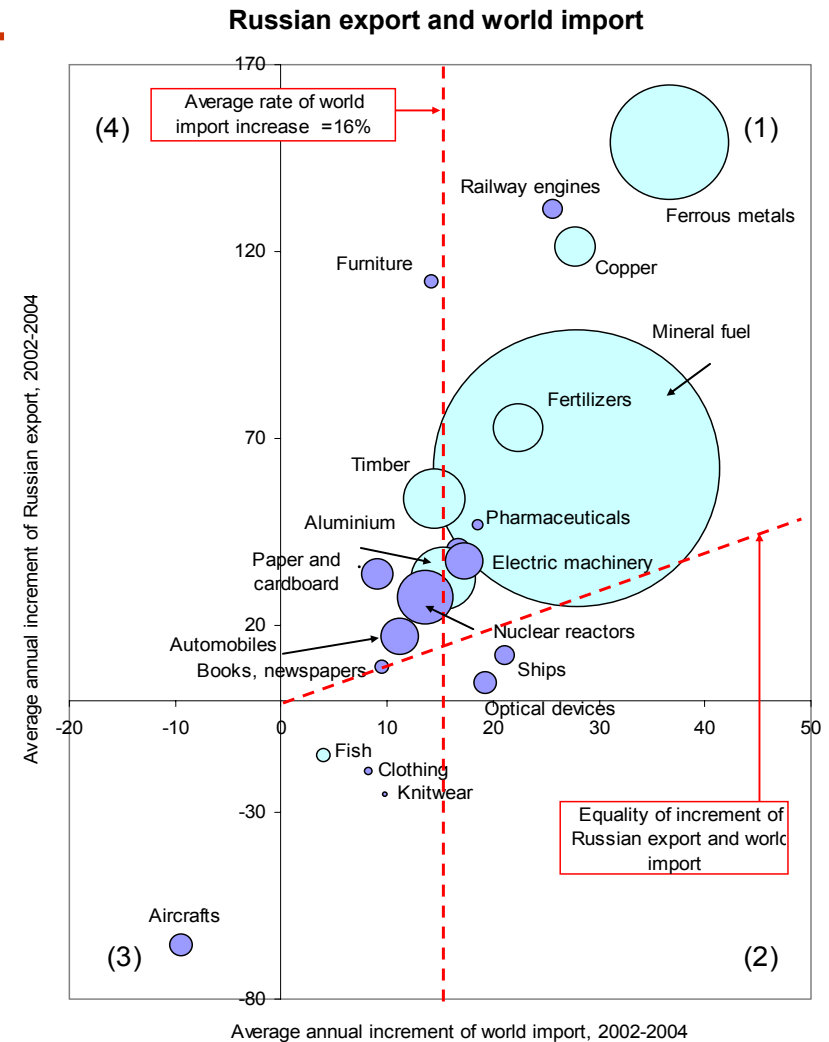


外国経済関係と輸出支持の開発のための官民関係使用
(国際銀行プロジェクト, 2005年)

- 産業輸出の国家支持のための組織体制の成立を提案
- 工業輸出支持のための官民関係の役割を特定
- 輸出を振興する国家支持プログラムの能率指数を提案

輸出の国家支持に関する提案

仕組みの原則	仕組みの変化
<ul style="list-style-type: none"> 目標管理制度の使用 プログラム結果にたいしての政府機関の責任 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム開発活動を調整する輸出支持政府機関 負債資金を誘致する独立金融組織



社会・経済政策

貧困と経済成長



ロシアの経済成長: 目指すのは貧困の克服? (国際科学会議「経済の現代化と国家」での報告, 2006年)

- 異なった所得グループにおける経済成長の影響の見積り
- 貧困削減に適応した社会・経済政策への助言



貧困削減に対する経済成長の影響。2001-2005年のロシア経験 (第六回レオンチェフ会議、サンクトペテルブルグ、2006年)

ナショナルプロジェクト



優先的ナショナルプロジェクトの枠内で活動 (ロシア大統領専門局の注文で, 2005年)

- ナショナルプロジェクトのモデルが提出された;
- 国際経験の基にナショナルプロジェクトの枠内での仕事原則が定式化。

国家政策の指数システムの見積り



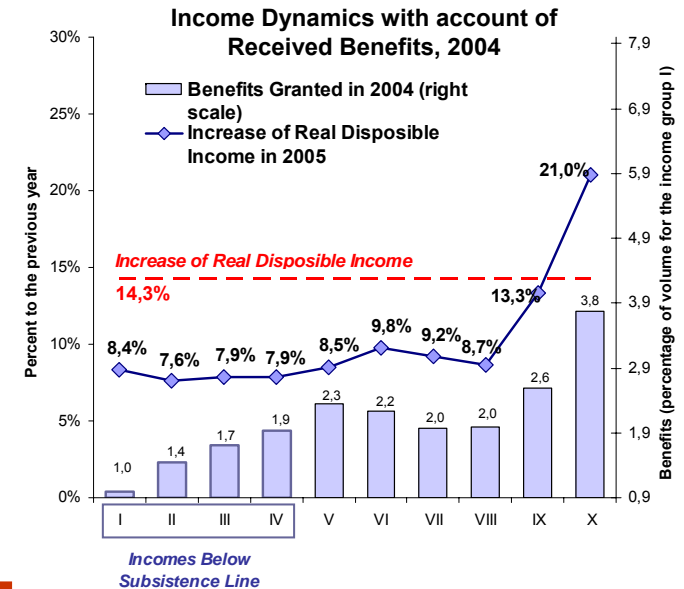
競争力、生活質の指数: 国家政策の効率 («ICSS ノンペーパー» シリーズ, 2004年)

- 「競争力」と「生活質」の定義がはっきりされてきた;
- 国家の社会・経済政策の効率評価用指数システムが作成。

社会分野におけるICSSの分析論文



年金制度の改善問題 (2005年)
社会的便益: 改革の現状と見解 (2004年)
2002年-2003年度の貧困と収入分化



国際連合とロシア、開発優先

ミレニアム開発目的と国家プロジェクト

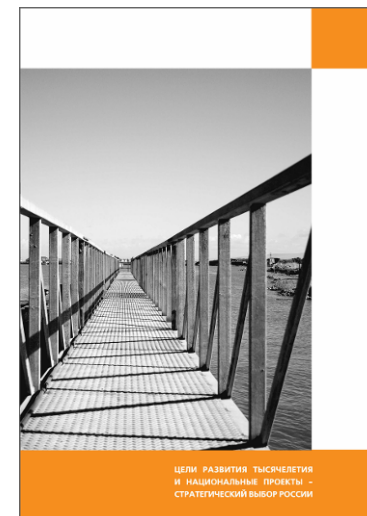


ミレニアム開発目的とロシア国家プロジェクト、戦略的選択
(在ロシア国際連合オフィスの依頼に発行、2006年)

国際連合サミットで決定、ロシア現況に応じて変更された「ミレニアム開発目的」の概念の可能性を検討。

- I. MILLENNIUM DEVELOPMENT GOALS AND NATIONAL PROJECTS: COMMON AND SPECIFIC FEATURES
- II. THE NATIONAL PROJECT "EDUCATION" AND ACHIEVEMENT OF MDG+
- III. THE NATIONAL PROJECT "HEALTH" AND REALIZING MDG+
- IV. MEASURES OF DEMOGRAPHIC POLICY IN THE CONTEXT OF NATIONAL PROJECTS AND MDG+
- V. THE ROLE OF CIVIL SOCIETY IN IMPLEMENTING THE NATIONAL PROJECTS

「国際連合とロシアの開発優先」 円卓会議は在ロシア国際連合オフィス及びICSSによって行われていた。(2006年10月25日)



国際プロジェクト



- インフラストラクチャーの開発政策:
ブラジル経験

ロンドン経済研究所、ワーガス基金（ブラジル）と共同
に



- 電気エネルギーの競争の卸売市場モデル化

ロンドンビジネス研究所と共同に



「開発政策」セミナー



セミナーは2001年から定期的に行われている。

経済専門家、行政機関とビジネスの代表者などのセミナーの参加者は国家開発の政策に関する問題を討議する。



2006年の「開発政策」セミナーの課題：

- 国家投資 - 経済多様性の要素・ロシアと国際経験 (ロシア国際銀行代表部での主要な経済研究者、ジョン・リットワック)
- 住宅と公益事業の改革を行うことを不正に計画したのか、それとも計画したことを不正に行っているのか? (エネルギー効率的使用センターバシュマコフ所長)
- 気候変化の可能な社会・経済結果 (大気物理研究所数学生態学課 ギーンズブルグ課長) ; 社会と気候変化 (エネルギー効率的使用センターバシュマコフ所長)
- ロシアでのアルコールで引き起こされた死亡について何を知っているのか? (経済予測研究所、人口統計学センターヴィシュネフスキー所長)



ポリヤンカでの会談



「ポリヤンカでの会談」で有名な学者、政府、ビジネス業界の代表者の発言と講義が行われている。



2005年6月 - イェル大学の経済、政治学の名誉教授であるチャルリス・リュンドブロムは自分の「政治と市場」書のロシア版を提出した。



2005年10月 - 「ITの光輝と赤貧」書の著者、ニコラス・カル記者との会談。



2005年11月 - 物理生物化学研究所の所長、ブラジミル・スクラチーフ、アカデミー会員は「老化の廃止は可能性？」という発言を提出した。



2006年3月 - 日本政策投資銀行設備投資研究所の主要な経済学者河東哲夫は「日本経済の回復：世界経済に対するどんな影響？」と発言した。



2006年5月 - フセヴォロード・トカチューク アカデミー会員、モスクワ国立大学附属医学部学長「遺伝子細胞テラピーの問題と見通し」と報告した。



2006年9月 - ハーバード大学教授マーシャル・ゴールドマンは「プーチン。石油。権力。後援。犬が吠える、風が吹く、隊商が進む」と発言した。



サマースクール



サマースクールは2002年から定期的に毎年行われ、ロシアの様々な地方からの若い経済専門家を結合させている。

FOR THE UNDERGRADUATES, MASTERS AND POSTGRADUATE STUDENTS

- unique opportunity to find out more about recent developments of economic science
- discussions with leading Russian and foreign economists
- contacts with students from different Russian regions
- practice of team work in projects
- opportunity of internship in the leading Russian think-tanks
- prospects of successful career



サマースクール-2006年の課題

《ロシア経済の20年後》



ICSS コース

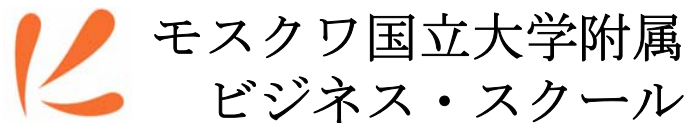


「応用経済分析と国家政策の分析」コース

2006年3月14日ー4月6日

- 産業分析・研究に関する方法論と例
- 電気エネルギーと天然ガスの競争できる市場
- 為替相場と企業の競争力
- 金融市場: ロシアの企業は何を選ぶか?
- 労働市場
- 2005年度の経済結果
- 応用経済分析の情報援助
- ダイアグラム、図表のデザイン

教育



2005/2006 学年

ICSS研究員の講義：

学士コース：

- 金融市場 (ザヴェルスキー)
- ミクロ経済 (コノノワ)
- マクロ経済 (コノノワ)
- 計量経済学 (シュワリョーフ)
- 人口統計学の基本 (キセリョーフ)

マスターコース：

- 財政のインフラストラクチャー (ザヴェルスキー)
- ビジネス用の量的方法 (シュワリョーフ)

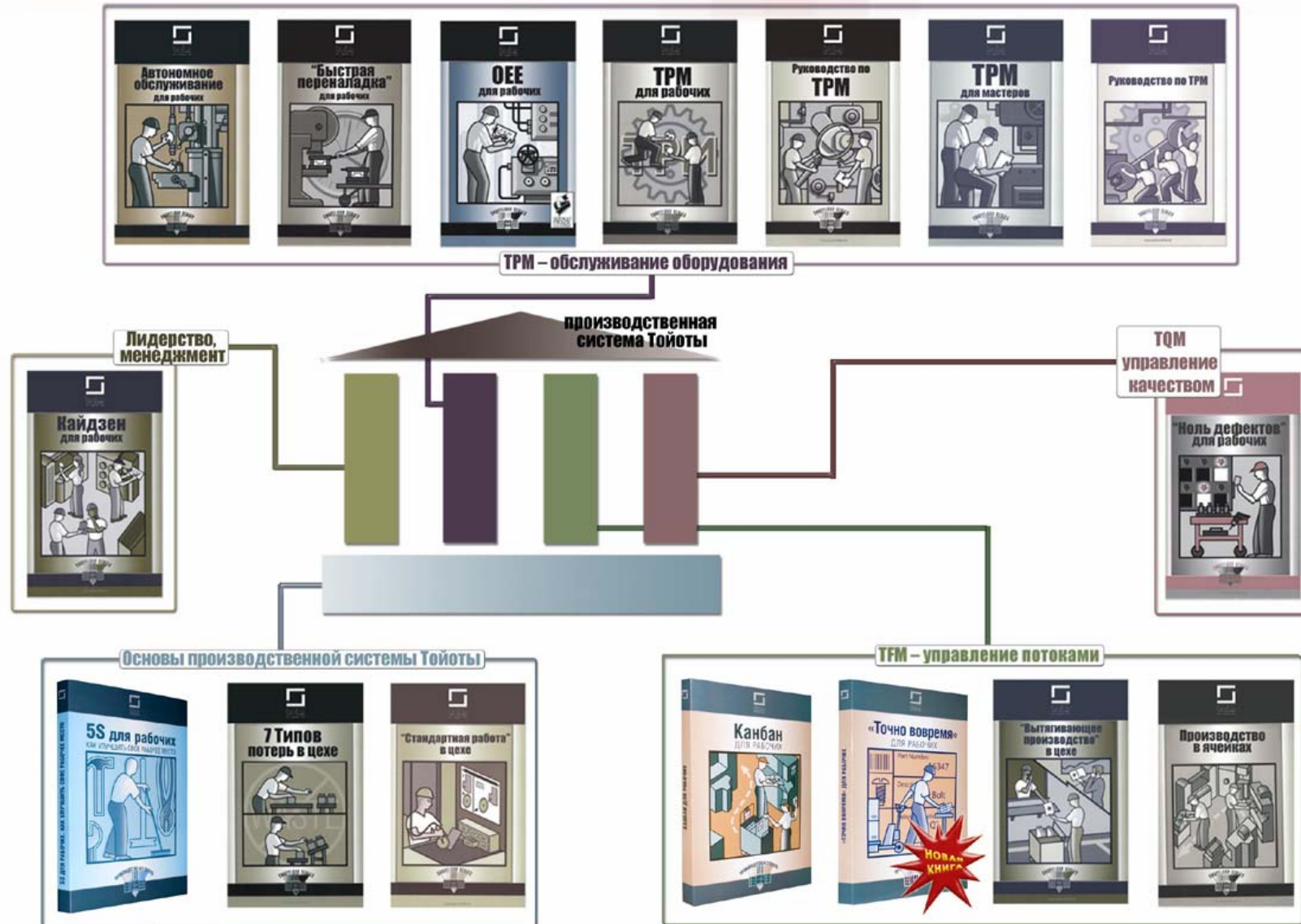


«ICSS書庫»

ICSSは主な経済学者と財界の指導者の著書を出版している。



「リーン生産方式」 シリーズ



《ポリャンカホール》

交渉、ミーティング、および会議のための最先端施設



- 収容人数 - 70人
- **1,6x4,2** メートル スクリーン
- 電子投票システム
- 同時通訳システム

- ビデオ会議用の設備
- ユーザー25人用のインターネット
- エアコンディション
- レセプションホール

連絡先

119180, モスクワ,
大ポリャンカ通り, **23, 1**
電話番号: **(495) 995 11 35**
ファクス番号: **(495) 995 11 36**
Eメール: **mail@icss.ac.ru**

www.icss.ac.ru

地図:

